

千葉事業所からのお知らせ 2023-1

2023 年 5 月 8 日

千葉事業所（千葉県市原市 執行役員所長：秋谷 博志）では、例年近隣の地元町会長様向けに当所の安全・環境対策等事業活動についての CSR 説明会を開催してきました。

今年 4～6 月大型 SDM（定期補修）を予定しており、地元の皆さまにはご迷惑とご心配をお掛けいたしますが、3 月 30 日出光会館でその概要と共にトピックスについてご説明させていただきました。

当社活動への皆さまのご理解とご支援を賜りたく、何卒宜しくお願いいたします。説明内容の抜粋を下記いたします。

なお、CSR 説明会では前回（6 月 23 日）からの変化点についてご説明をさせていただきましたが、2023 年 1 月 12 日に「千葉事業所からのお知らせ 2022-4」で掲載した内容と重複する内容は除いて掲載をさせていただきました。ご容赦いただきたくお願いいたします。

1. 大型SDMについて

2023年は、大型SDM（定期補修）を行います。近隣住民の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

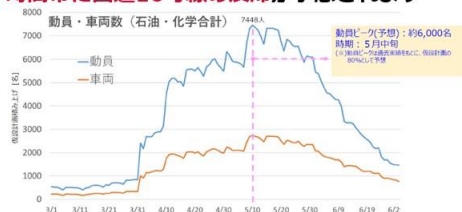
（1）SDM期間

- 予定期間：2023年1月11日～7月25日
- ピーク時期：4月初旬～6月末

（2）SDM期間中の状況

- 多くの工事会社車両と作業員が入構します。（約6千人／日）
- 駐車容量確保のため、構外に駐車場を確保（370台分）します。

➡ 朝夕時間帯に国道16号線の渋滞が予想されます



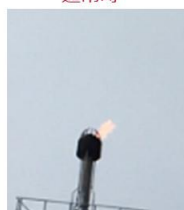
1. 大型SDMについて

（3）SDM期間中のフレアスタック※の炎と音

※フレアスタック：先端から炎の出ている煙突

- 装置の運転停止・開始時に装置内に滞留している可燃性ガスを燃焼し、無毒化して放出します。
- 炎や音が大きくなりますが、炎、黒煙、騒音の管理に細心の注意を払います。

通常時



余剰ガス燃焼時



2. 異臭に関するお問い合わせについて



2022年9月下旬頃より、姉崎・椎津地区から市原市への異臭問合せ件数が増加。その原因調査として市原市と近隣企業が協力し調査を開始しております。

- (1) 現象
火薬臭、ガス臭、ゴムの焼けた臭い、硫黄臭い、下水臭、汚物臭等
- (2) 行政との連携
 - 特異な操作の実施や運転上の変化点がないか都度確認
 - 敷地内外の臭気パトロールを実施中。
 - 千葉県・市原市立ち会いの下、臭気の確認を実施中。
- (3) 当社としての自主的な取り組み
 - ばい煙に關係する装置の運転状況監視強化を実施中。
 - 外部専門家による調査
⇒当月に臭気サンプル採取し、現在分析中。

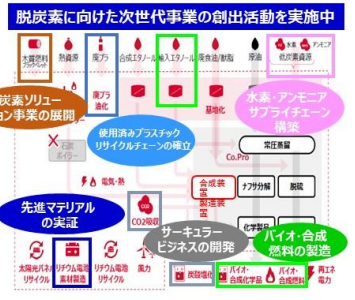
3. 千葉事業所の取り組み



(1) CN (カーボンニュートラル) への取り組み

エネルギーの安定供給責任を果たしながら、化石燃料の割合を減らし地球にやさしい低炭素・脱炭素の新たなエネルギー・素材への転換を図ります。

製油所・事業所の製造拠点をCNXセンターへ
CNX (カーボンニュートラルトランスフォーメーション)



① グリーンエナジーペレット



石炭との混焼によりCO2削減が可能な木材ペレット (グリーンエナジーペレット) を開発。
当初ボイラー装置で石炭との混焼実証。

低炭素リユース事業の展開



原料となる「ソルガム」の植生試験 (豪州)

② 全固体リチウムイオン電池



全固体リチウムイオン電池素材の商業生産に向けた実証設備を稼働開始。
電気自動車への採用に向けた実証を推進中。

先進マテリアルの実証



全固体リチウムイオン電池向け固体電解質



固体電解質の実証設備 (千葉事業所内)

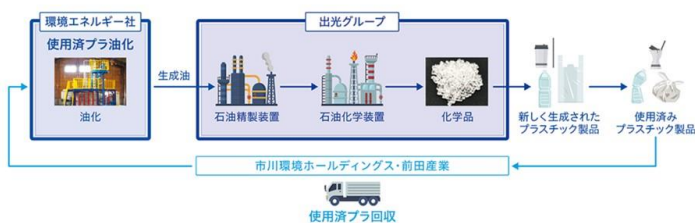
https://www.idemitsu.com/jp/news/2021/211105_2.html

③ 使用済みプラスチックリサイクル



国内初、使用済みプラスチックを油化し、既存設備で精製・分解・再合成し、プラスチックをケミカルリサイクルする技術を推進中

使用済みプラスチックリサイクルの確立



④ SAF (持続可能な航空燃料)



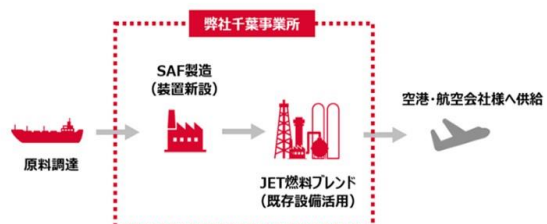
持続可能な航空燃料 (SAF) の製造検討

バイオ・合成燃料の製造

原材料 (バイオマス由来のアルコール) の生産・収集から燃焼までの過程で、CO2排出量が少ない持続可能な供給源から製造されるジェット燃料

- ・ 2022~2023年度: 基本設計
- ・ 2024~2025年度: 建設工事
- ・ 2026~2033年度: 実証運転

SAF: Sustainable Aviation Fuel



(2) 地元とともに



当社千葉製油所は、1963年1月に竣工し、今年で60周年となります。
市原市市政60周年と同じ年に還暦を迎えます。

- これまで地域の皆さまからのご支援の下、安全安定操業を継続することが出来ました。誠に有難うございます。
- 大規模な記念行事は予定していませんが、市政60周年とタイアップし、『みらいを奏でる音楽会』（市原市民会館）を開催予定です。

実施予定日：2024年3月9日（土）

出演予定：奥田弦 & Tokyo Secret Orchestra弦楽アンサンブル



(2) 地元とともに～地域貢献～



- ①産業道路一斉清掃
年4回実施、毎回100名以上の社員が参加しています。



- ②姉崎産業祭の開催
2023年5月21日（日） 出光会館で開催予定。
現在、地元とコンビニート企業と協力して準備中

- ③ふるさとプロジェクト
2023年度は、市原市立姉崎小学校で開催予定。
（2022年度は、11月28日市原市立明神小学校で開催）
次代を担う子供たちの挑戦・成長・能力発揮支援を目的としたイベント。
当社では2018年から全国各地の小学校で日本古来の和楽器演奏の鑑賞、演奏体験、桜の記念植樹式を行っています。

(2) 地元とともに～地域貢献～



- ④事業所見学
コロナ禍により2020年度は見学者は激減したが、感染対策を講じたうえで**2021年度約800名、2022年度は2,200名（見込み）の方々**の見学を受け入れ。

- ⑤コロナワクチン接種
市原市からの要請を受け、出光会館で集団ワクチン接種へ協力
2021年 : 8,390人（3回実施計）
2022年3～4月 : 14,283人
2022年11～12月 : 6,573人

→計約3万回のワクチン接種に協力してまいりました。

(3) その他



ブリヂストン社新規タイヤの走行実証を開始

パンクレス（空気充填不要）、スポーク部分は特殊樹脂製でリサイクルでき、ゴム部分は貼り替えが可能なエコなタイヤ。
2023年3月から弊社構内の超小型EV車に装着、構内走行の感想、印象を開発に反映させる。



以上